

かしわ

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念を暗唱できない職員や意味を知らない職員もあり、共有して実践に繋がっていない。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内での買い物や認知症カフェの参加、文化祭などの町内行事に積極的に参加し、日常的に交流を持てるようにしている。	コロナの影響もある中、しっかりと活動されている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	報告や話し合いはできている。今後は、意見をどのようにサービスに活かすのかどう活かしたのか等の結果も報告していきたい。	活発な情報共有や意見交換ができています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要事項は管理者や計画作成が行っている。	取り組みはできている。あとは、職員も伝えられるように情報共有と工夫が必要。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本は理解し、取り組んではいるが、改善すべき所はないか等の話し合いを現場で定期的に行っていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	都度話し合いを持っているのなら良いと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	Web研修等で職員全員が学んでいるが、現場の不適切ケアについて職員が定期的に振り返り、話し合う必要性を感じる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	学んだことを話し合う機会を持てれば良いと思います。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自ら機会を持って学んでいる職員もいれば、関心がない職員もいる。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時、しっかりと話し合いを行っているが、重度化に伴いお金が必要になる場合がある等の説明も適宜必要だと感じる。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来所時に日頃の様子を伝え、要望等を聞いている。また、遠方の家族には定期的に電話をしている。玄関にもご意見箱を置いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	きちんとできていると思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者と話せる機会が少なく、会議で意見をあげても反応がなく、反映されていないと感じる。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の評価がわからず、努力や実績をどのように把握しているのか不明であり、向上心を持ってない環境にある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に何度かは面談を行い目標設定、振り返りは必要だと思う。代表者は管理者や職員が向上心を持って働けるように改善してほしい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受けられる機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修を受ける機会をたくさん設けてくれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できていると思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者との交流の機会は職員によって差がある。同じ法人なのに名前も知らない人が多いなど、他部署との交流が少ないように感じる。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係を築けている職員と、築いている途中の職員がいる。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特定の人にとどまるが、行きつけの美容室に行ったり、自宅の庭を見に行ったりしている。	重度化して難しい人もいる中、きちんとできていると思います。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく本人の思いや希望に添えるよう努めているが、職員都合になることもある。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	日ごろから本人や家族から意見を聞き意向を反映しているが、職員との話し合いやすり合わせが必要と感じる。	入居者に対する思いは同じでも、支援の内容が職員の知識や経験によって異なることがある。自己研鑽に励み、チームケアに活かしてもらいたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の主体者は誰なのか、支援の内容が職員都合となっていないのか振り返りが必要。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	情報の共有は個別記録や申し送りだけでは難しいと感じる。また、個別記録には出来事の記載が多く、気づきや工夫の記載はあまりない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の言動には必ず意味があり、背景や気持ちを考察する必要がある。日々変わる認知症ケアの理解も必要であり、自己研鑽し、互いに意見が交換できるような工夫が必要。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	冠婚葬祭時のサポートなど、個別のニーズにできるだけ対応している。	職員も同席するなど、個別のニーズに寄り添った対応をしている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特定の人だけであるが、図書館やいきつけの美容室など行っている。	地域資源が活用されており、素晴らしいと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を聞き、適切な医療を受けられるよう支援に努めている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早期の退院ができるように入院の段階から意向を病院側に伝えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分にできていると思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早い段階で本人や家族から意見を聞き、都度話し合う機会を設けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分にできていると思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に訓練を行っている職員もいれば行っていない職員もいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、消防の立ち合いで避難訓練を行っている。また、避難方法を適宜話し合っている。	BCPも作成中であり、災害時の優先業務や管理者不在時の代替えも定めている。	A. ③充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の買い物にも大きな車を使うなど、災害時に車の操作等で困らないように工夫している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	馴れ合いの言葉が出ている時がある。また、職員が思わず本音をその場で口に出すなど、利用者の人格を尊重しているとは言えない言動も時折みられる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	人間なので感情が思わず出てしまうこともある。職員間で互いに意識し合い都度、振り返りを行う取り組みが必要。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な生活スケジュールがあり、その中で希望に添えるよう支援に努めているが、職員都合になることもある。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく一緒に行っている。献立はその日に利用者と相談して決めるようにしているが、できていない時もある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員によって差がある。きちんと入居者と献立を決める人と、職員が食べたいものを作る人もいるが、出来る限り利用者本位の支援を、皆で努めて欲しい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	水分量は問題ないが、食べる量や栄養バランスは利用者により偏りがある。また、病気に対する食事の知識が足りないと感じることもある。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	毎食後は行っていない。口腔状態の把握やケアができていない結果、虫歯になり抜歯した利用者もいた。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	自立している人の介入は難しいのは理解できるが、把握する工夫は必要。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	下剤の調整や排せつパターンの考慮を行い、トイレ誘導等の支援を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	充分にできている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	職員の都合で午後入浴を基本行っていない。入る日も先に職員が決めてから声掛けを行っている状況。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	体調の変化に合わせて、静養できる時間を設けるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	内服薬はいつでも確認できるようにファイリングしている。服薬の支援と症状の変化についての確認に努めているが、それについての考察が共有できていない時がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	頓服で処方されている精神安定剤や睡眠剤はタイミングが難しく、職員間で考えが違うのは理解できる。非薬物的支援の知識を持ち、対応できるよう努めてほしい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	一人一人のニーズに合わせて支援を行っている。	充分できていると思います。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物や外食の二択になりつつある。他にもいろいろと引き出せるようにしたい。	充分にできていると思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己管理できる利用者はいない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望があれば支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとの飾りつけ等を行っている。また、皆で集まる場はあるが、居室以外は職員の目がほぼ届いてしまうので、職員の視線を気にせず過ごせる場所を作りたい。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	限られた空間の中できちんとできていると思う。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを引き出せるように支援を行っている。意思表示ができない利用者には家族の意見も聞きながら暮らしをサポートしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限りの情報を活用し、ケアや支援を受けているが職員により理解に差がある。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	極端な状態の悪化はないので、できているといえる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分にできていると思います。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な生活スケジュールは決まっているが、なるべく自分のペースで過ごしていただけるように支援を行っている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	持ち込むことができる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分にできていると思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が誘導する時もあるが、本人の意向を引き出させるように支援を行い、希望があればすぐに対応できるようにしている。	充分にできていると思います。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できることは積極的に行っていたが、関りに差があり全員ができているとはいえない。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いきいきとした場面がみられることがあるが、利用者によりその場面の多さに差がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化されている方もいる中、充分にできていると思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	交流できている人と交流の機会が持てない人と二極化している。その人らしい地域交流とは何かを考え支援に努めたい。	重度化している方のその人らしい地域交流は本当に難しい。職員が一人ひとりに対して考えていることにも意味があるのだと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分たちで判断することは難しいが、本人や家族から感謝の言葉をいただくことがある。利用者ひとり一人が自分らしく過ごし、より良い暮らしができるよう支援に努めていきたい。	充分にできていると思う。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分にできていると思う。